

K-RELEASE

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.212

静岡県企業局
 電話 054-221-2153
 F A X 054-251-5381
 発行 令和4年1月25日

富士大淵工業団地 進出企業が決定しました！

企業局が造成中の富士大淵工業団地について、富士市による進出企業の公募が令和3年7月から8月にかけて行われ、県内外の12社から応募がありました。市における審査・選考の結果、下記6社の進出が決定しました。このうち4社は、関東・関西に本社を置く県外企業であり、うち1社は本県初進出となっています。

造成工事は順調に進捗しており、令和4年度中の引渡しを予定しています。引き続き、周辺環境に配慮しながら工事を進めるとともに、局独自のノウハウの活用や創意工夫により、一日も早い引渡しを実現し、操業による経済効果が早期に発現されるよう取り組んでまいります。

区画	企業名	本社所在地	業種	主な計画	備考
1	太洋紙業(株)	富士宮市	紙製品製造業	ペーパータオル製造	
2	ミントハウス(株)	埼玉県	食料品製造業	多糖類製品製造	
3	(株)エマナック	大阪府	金属製品製造業	ネジの防錆処理	
4	(株)コーチャー	富士市	紙製品製造業	ペットケア用品製造	
5	高岡食品工業(株)	兵庫県	食料品製造業	チョコレート製造	本県初進出
6	埼玉プレス鍛造(株)	埼玉県	自動車部品製造業	アルミニウム鍛造品	



令和3年度 企業局優良建設工事等表彰

企業局では、建設業における技術力の向上や適正な施工を促進するため、卓越した技術力を発揮して優れた成績を修めた建設業者や技術者を表彰しています。令和3年度は、令和2年度に完成した企業局発注工事の中から下の表中の8者を表彰しました。

企業局の事業は、建設業に従事される多くの方々の力で支えられています。今後も企業局の工事への御理解と御協力をよろしく申し上げます。

令和3年度 企業局優良建設工事等表彰 受賞者一覧 (敬称略)

優良工事部門	企業局長表彰	須山建設株式会社(浜松市中区)
	東部事務所長表彰	株式会社 西尾組(富士市)
		株式会社 丸島アクアシステム 東京支店(東京都中央区)
		有限会社 タカミ建工(静岡市清水区)
	西部事務所長表彰	平野建設株式会社(磐田市)
		株式会社 永井組(袋井市)
株式会社 マルブンプロテクト(袋井市)		
優良技術者部門	西部事務所長表彰	共和建設株式会社(牧之原市) 八木 保之

企業局長表彰 表彰式 令和3年12月23日(木)

- <対象工事> 湖西工業用水道事業梅田浄水場1号配水池耐震補強工事【施工者:須山建設株式会社】
(配水池の頂版、底版、柱のコンクリート増し打ち工法による対策を実施)
- <受賞理由> 作業員の安全対策や、環境に配慮された新技術、長寿命化や劣化の低減に期待できる取組など、総合的に他の模範となる工事であったため、表彰します。



局長表彰(右:須山建設(株)代表取締役)



須山建設(株)と企業局幹部職員

表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施した上、写真撮影時のみマスクを外し会話を控えて行いました。



東部事務所表彰式(1月13日)



西部事務所表彰式(1月19日)

第2回経営評価委員会を開催しました

去る11月26日「令和3年度第2回静岡県企業局経営評価委員会」を開催しました。会議では企業局から東駿河湾工業用水道と富士川工業用水道の事業統合と料金見直しについてや、水道イノベーション賞特別賞受賞等についての報告を行った後、企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の見直しについて協議を行いました。

委員の皆様からは、経営戦略の見直しに係る数値目標や今後の企業局の方向性等について御意見をいただきました。

なお、本委員会の様子は建通新聞にも取り上げられました。

< 議事 >

【報告事項】

- ・東駿河湾工業用水道と富士川工業用水道の事業統合と料金見直し
- ・榛南水道と大井川広域水道の事業統合
- ・「水質分析による漏水元判別」技術の水道イノベーション賞特別賞受賞
- ・地域振興整備事業（工業用地造成事業）の状況
- ・新たな広報の取組

【協議事項】

- ・企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の見直し

< 御出席いただいた委員の皆様 >

（敬称略）

氏名	役職
朝月 雅則	浜松市水道事業及び下水道事業管理者
井熊 芽久美	めぐみ会計事務所 所長
鎌田 素之	関東学院大学理工学部 准教授
小泉 祐一郎	静岡産業大学 教授
樋口 徹	作新学院大学経営学部 教授
古郡 英治	富士商工会議所 専務理事
山田 慎也	一般財団法人静岡経済研究所 理事
山本 麻美	株式会社富永事業 代表取締役

< 樋口会長よりご挨拶 >

まず、水道イノベーション賞特別賞受賞おめでとうございます。事業統合をはじめ、様々な活動を積極的にされているのは、企業局の体質や文化の賜と確認しています。

PPP（官民連携）は地域独占的なものなので、官の役割が重要となります。今までのような業務委託ではなく、民間の活力を利用することがより重要視されているので、官の役割が一段と重要であると実感しています。



< 主な御意見 >

色々な工夫に感心した。特許を取って知的財産とすることもできるのではないかな。

ビルドメンテナンス方式の導入、浄水発生土の処分費削減等については、水道事業者共通の課題。意見交換の機会を設けていただき、情報共有をお願いしたい。

企業の市外移転について、拡張したくてもできずに県外に移転してしまう事も考えられるため、拡張対応、移転対応、企業留置の取組が必要である。

「3つの1,000億」というタイトルから、全ての職員の活躍がうかがえる。職員の年齢構成をみると若手が少なく、技術を継ぐ若手の育成が課題である。

今後60年間の更新費用・財源見通し等を適切に広報して、静岡県にとって重要なインフラをどのように維持していくのか、広く議論できる土壌を作ることが大切である。

経営評価委員会の詳細は、企業局ホームページで御覧いただけます。

「企業局」 「経営評価委員会」

水道事業の業務状況(令和3年12月27日現在)

12月の使用水量は、前年度同期比で、駿豆水道は98.0%、榛南水道は98.5%と減少し、遠州水道は107.0%と増加し、全体では105.2%となっています。

(単位:千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			12月分	累計	12月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	27,600	851	7,681	27.8
	前年度同期	100	3,000	27,500	868	7,925	28.8
	前年度同期比	100.0	103.3	100.4	98.0	96.9	
榛南	当該年度	27	837	7,452	451	4,053	54.4
	前年度同期	27	810	7,425	458	4,162	56.1
	前年度同期比	100.0	103.3	100.4	98.5	97.4	
遠州	当該年度	292	9,055	80,620	5,482	45,955	57.0
	前年度同期	292	8,763	80,328	5,122	45,691	56.9
	前年度同期比	100.0	103.3	100.4	107.0	100.6	
合計	当該年度	419	12,992	115,672	6,784	57,689	49.9
	前年度同期	419	12,573	115,253	6,448	57,778	50.1
	前年度同期比	100.0	103.3	100.4	105.2	99.8	

工業用水道事業の業務状況(令和3年12月27日現在)

12月の使用水量は、前年度同期比で、柿田川工水は102.6%、富士川工水は112.1%、東駿河湾工水は107.5%、静清工水は102.0%と増加し、中遠工水は96.9%、西遠工水は95.0%、湖西工水は98.7%と減少し、全体では105.0%となっています。

(単位:千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			12月分	累計	12月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	27,600	2,962	26,518	96.1
	前年度同期	100	3,000	27,500	2,887	26,477	96.3
	前年度同期比	100.0	103.3	100.4	102.6	100.2	
富士川	当該年度	27	835	7,465	651	5,659	75.8
	前年度同期	46	1,371	18,216	581	5,261	28.9
	前年度同期比	58.9	60.9	41.0	112.1	107.6	
東駿河湾	当該年度	361	11,191	100,001	7,578	67,718	67.7
	前年度同期	367	11,013	101,000	7,052	66,726	66.1
	前年度同期比	98.3	101.6	99.0	107.5	101.5	
静清	当該年度	51	1,544	13,909	1,081	9,743	70.1
	前年度同期	52	1,551	13,974	1,060	9,540	68.3
	前年度同期比	99.4	99.6	99.5	102.0	102.1	
中遠	当該年度	34	1,051	9,379	408	3,700	39.4
	前年度同期	42	1,271	11,632	421	3,793	32.6
	前年度同期比	80.1	82.7	80.6	96.9	97.5	
西遠	当該年度	29	894	8,115	592	5,626	69.3
	前年度同期	33	1,021	9,486	623	5,619	59.2
	前年度同期比	86.6	87.5	85.5	95.0	100.1	
湖西	当該年度	17	497	4,468	299	2,741	61.3
	前年度同期	17	496	4,465	303	2,799	62.7
	前年度同期比	100.0	100.1	100.1	98.7	97.9	
合計	当該年度	619	19,112	170,937	13,571	121,705	71.2
	前年度同期	657	19,723	186,273	12,927	120,214	64.5
	前年度同期比	94.2	96.9	91.8	105.0	101.2	